

# 2019年 NPO法人民間稲作研究所公開シンポのご案内

1 昨年から顕著になった官邸政治、主要農作物種子法廃止から始まって、競争力強化法の制定、グリホサート（除草剤ラウンドアップ）の残留基準の大幅緩和、農薬取締法改定【ジェネリック農薬（グリホサートなど）の登録申請の簡素化】、遺伝子組み換え農産物に関する優良表示の厳格化（5%未満からゼロへ）遺伝子組み換え・遺伝子編集作物の安全性の認定などグリホサートの販売と遺伝子組み換え農産物の種子・生産・販売のトップメーカーであるモンサント社（現バイエル社）の意を組んだTPP関連法案の改定が矢継ぎ早に改訂され、日本の農業と子供たちの健康が危機にさらされています。今回の集会ではこうした数年間の激変にどう対処すればよいのか、県条例の制定や内外での循環型有機農業の普及による家族農業の提案など皆さんで考えたいと思います。

## 会場 コンセーレ（財団法人栃木県青年会館）

〒320-0066 栃木県宇都宮市駒生1町目1番6号

電話028-624-1417 FAX028-624-1843 E-mail: concere@olive.ocn.ne.jp

日程 2019年2月16日（土）～17日（日）12:00

## 公開シンポ 第1日目

13:00～14:00 受付

13:00～14:00 DVD試写会(循環型有機農業のすすめ): ブース展示・即売

第1部 ジャイカ筑波「草の根支援活動」による

ブータン王国の循環型有機農業支援事業報告

14:00～17:30

開会あいさつ クラウドファンディング目標達成への御礼

- 1 支援活動の経過と今後の展望 田坂興亜
- 2 循環型有機農業による食料自給率100%への挑戦 稲葉光國
- 3 ジャイカ筑波による草の根支援活動とブータン有機農業支援活動  
ジャイカ筑波担当官（交渉中）
- 4 DVD循環型有機農業のすすめ 一試写会と意見集約—  
カメラマン 岩本剛 パタゴニア環境助成担当・稲葉

18:00～18:30

チェックインと休憩

有機食材で味わう夕食懇親会

夕食・懇親会

19:00～21:00

## 公開シンポ 第2日目

輸入に頼る麦・大豆の残留農薬（グリホサート）基準が大幅に緩和され、子供たちのアレルギー疾患やセリアック症の激増が心配されます。その回避策は循環型有機農業の推進による学校給食を中心に有機農業による地域自給圏の構築とその継承発展がカギを握っています。

### 第2部 有機農業による主要農作物の生産振興とその継承

#### ー 子供たち・そして生き物の未来のためにー

(9:00~12:00 進行 谷口吉光・佐藤繁男)

報告1 松本嗣夫 宮崎アグリアート 40haの経営と継承

報告2 杉山修一 循環型有機農業の到達点と経営の継承

報告3 古谷 忠 古谷農場 循環型有機農場の現状と課題・その継承

特別報告 我が国の有機農業の現状と推進計画

農林水産省生産局有機農業推進班（交渉中）

ーパネルディスカッション 有機農業第一世代から第二世代への継承ー

11:00~12:00

### 第3部 主要農作物種子法廃止と県条例制定運動公開シンポ

(13:35~17:30 進行 斎藤一治・古谷慶一)

主催：NPO法人民間稲作研究所 共催：「種子の会とちぎ」

2017年通常国会で主要農作物種子法の廃止が可決成立し2018年4月1日より、法的な裏付けがないまま、辛うじて各県の種子の供給事業は継続してきました。この不安定な環境を解消しようと各県で県条例を制定する運動が沸き起こり、兵庫・埼玉・新潟・山形・北海道・富山と官民一体の制定運動が実を結びつつあります。また近年の法改正は種子法だけでなく遺伝子組み換え食品の表示厳格化や農薬取締法の改定、グリホサートの残留基準の緩和など、多国籍企業による日本農業の全面的な支配が進みつつあります。このまま放置すれば子供たちの未来に大きな災禍をもたらします。こうした事態にどう対処すべきか各県の条例制定運動の動きを共有しながら超党派で取り組みを開始した「種子の会とちぎ」の運動について意見交換を行いたいと思います。是非ご参加下さい。

#### 主要農作物種子法廃止と県条例制定運動

開会あいさつ・来賓あいさつ（主宰者及び栃木県議会議長）

(13:30~13:10)

特別講演 種子法廃止の真相と対応策ー県条例制定の意義について

山田正彦（弁護士・元農水大臣）

報告 1 北海道で進む種子条例制定運動とその特徴

久田徳二（北海道大学客員教授）

2 山形県における種子条例制定運動と自給圏構想

志藤正一（山形県 庄内共同ファーム代表）

3 各県における種子条例制定の現状と今後の展開

日本の種子を守る会 事務局

4 「種子の会・とちぎ」より 条例制定への提言

稲場光國（種子の会・とちぎ 共同代表）

(総合討論 主要農作物の種子に関する県条例制定と生産振興をめぐって)

コーディネータ 斎藤一治・石崎幸寛

閉会あいさつ（栃木県議会各党代表者）

# 公開シンポ参加申込書と委任状

参加予定者も締切 2月9日までに必ず fax して下さい。 fax 0285-53-1133

氏名 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_

住所 〒 \_\_\_\_\_

参加するシンポの参加金額を○で囲みファックスして下さい。3日前からのキャンセルは全額料金支払となりますのでご注意ください。なお資料のみご希望の方は3000円で頒布します。

		16(土)				17(日)	
		総会 出欠欄 (○印)	第Ⅰ部 ブータン報 告会	懇親会	宿泊	第Ⅱ部 循環型有機農業 の普及と継承	第Ⅲ部 種子法廃止と県 条例制定運動
会員	全日程	出席	14,000円				
	部分参加	欠席	2,000	5,000	5,000	1000	1000
非会員	全日程	—	15,000円				
	部分参加	—	3,000	5,000	5,000	1000	1000
16日の昼食(弁当)		1 希望する(1,000円)		2 希望しない			
17日の昼食(弁当)		1 希望する(1,000円)		2 希望しない			
試食会出品食材		品名( )特徴など					
ブース展示即売品		展示内容				即売品目	

※ 試食会出品食材は希望される方のみご記入下さい。

※ 申込確認後 郵便振替用紙を発送いたしますので内容をご確認のうえご入金下さい。

※ 参加者の多少によって参加費等が変更になる場合もありますのでお含みおき下さい。

研究所の正会員及びグリーンオイルプロジェクトの方で総会に参加できない方は、以下の委任状にご記入のうえ、ご提出ください。 Fax 0285-53-1133

## NPO 法人民間稲作研究所総会委任状

私は、都合により総会に参加できませんので議事一切を下記のものに委任します。

1 理事長

2 議長

3 正会員 ( ) 氏

2019年 月 日

氏名 \_\_\_\_\_

印 \_\_\_\_\_

一般社団法人グリーンオイルプロジェクトの社員の方で総会に出席できない人は下記の委任状をご提出ください。(Fax 0285-37-7366)

## 一般社団法人グリーンオイルプロジェクト総会委任状

私は、都合により総会に参加できませんので議事一切を下記のものに委任します。

1 代表理事

2 議長

3 社員 ( ) 氏

2019年 月 日

氏名 \_\_\_\_\_

印 \_\_\_\_\_

2018年度

## NPO 法人民間稲作研究所・一般社団法人グリーンオイルプロジェクト

### 総会のご案内

2018年度の総会を下記のとおり開催いたします。会員の方で参加できない方は別紙の委任状に記名の上、2月9日までにご郵送下さい。(捺印してFaxして下さい。)

#### 記

- 1 日時 2019年2月16日(土) 10:00 ~ 12:30
- 2 会場 コンセーレ 栃木県宇都宮市駒生 1-1-6 TEL:028-624-1417
- 3 締め切り 2月9日(土)期限厳守。
- 4 関連団体の総会 日程

- 9:00~10:00 一般社団法人民間稲作研究所認証センター理事会
- 10:00~11:00 一般社団法人民間稲作研究所認証センター 総会
- 10:00~10:30 一般社団法人グリーンオイルプロジェクト総会
- 10:35~12:00 NPO 法人 民間稲作研究所総会
- 12:00~13:30 昼食 ブース 展示即売

### 会場 (コンセーレ) 案内図

〒320-0066 栃木県宇都宮市駒生 1 丁目 1 番 6 号 財団法人栃木県青年会館  
電話028-624-1417 FAX028-624-1843 E-mail: concere@olive.ocn.ne.jp



#### <交通のご案内>

- 東北自動車道
  - 東京方面からは鹿沼ICより9.5km
  - 仙台方面からは宇都宮ICより9.0km
- JR宇都宮宇都宮駅
  - 関東バス[作新学院駒生]行き(⑥⑦番のりば)東中丸バス停下車(コンセーレ前)
- 交通機関料金
  - バス (JR宇都宮駅~東中丸) 200円
  - タクシー(JR宇都宮駅より)約1,700円

問合せ先 NPO法人 民間稲作研究所 栃木県河内郡上三川町鞆堂 72

Tel/fax0285-53-1133 メール [urata@inasaku.or.tv](mailto:urata@inasaku.or.tv) 担当 齊藤・稲葉